

# ミドリシジミ

*Neozephyrus japonicus*

シジミチョウ科



ミドリシジミ

## 名前の由来

緑色（オスの翅の色）のシジミチョウの意。シジミはシジミ貝に大きさや形、メスでは色も似ていることからつけられた名。漢字名：緑蜺

## 特定種

該当なし。

## 形態的特徴

オスは金緑色に光る美しい中型のシジミチョウ。メスには前翅表面が無紋のO型、橙色斑をもつA型、青色斑をもつB型、橙色と青色の両方の斑をもつAB型の4つの型がある。ただしB型が圧倒的に多い。

## 類似種と見分け方

ミドリシジミ族のシジミチョウ。前翅裏面の短い白線がないことで、ある程度区別できる。



アイノミドリシジミ。オス(左-表、右-ウラ)



メサアカミドリシジミ。オス(左-表、右-ウラ)



ジョウザンミドリシジミ。オス(左-表、右-ウラ)



ウラジロミドリシジミ。オス(左-表、右-ウラ)



ミドリシジミ。表(左がオス、右がメス)



ミドリシジミ。ウラ(左がオス、右がメス)



ミドリシジミ。メスの表、4つの型

チョウ標本：吉原利之氏作成・所蔵

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卵期	■					■						
幼虫期		■										
蛹期				■								
成虫期					■							

## 生育環境・分布

平地や山地の溪流沿いにあるハンノキ類の林の周辺。

**分布：**国外分布は、ロシア極東地域、中国東北部、朝鮮半島。国内分布は、北海道、本州、四国、九州。北海道

内分布は、全域。

十勝地方では、平野部から山間部の林で見られる。

## 繁殖生態・寿命

年1回発生。成虫は7月～9月に出現。夕方に活発に活動する。越冬態は卵態。

産卵は主に午後に見られ、食草を確認した母蝶は腹の先端を枝にこすりつけながら枝の基部に向かって歩き、枝の分岐や樹皮のしわに行きあたると1～2個産み付ける。

また樹幹にかためて産むこともある。

幼虫は食樹の葉を糸でつづり合わせ袋状にしその中に潜む。蛹はハンノキの根際の枯葉の中などで発見されている。寿命：不明。

## 他生物との関わり

\*幼虫はハンノキ、ヤマハンノキ、ミヤマハンノキを食樹とする。

\*成虫の吸蜜植物として、ヒメジョオン、ハンゴンソウ、ヨツバヒヨドリ、オオアワダチソウなどの他多くの植物が確認されている。

\*天敵として卵からは寄生蜂が、幼虫からは寄生蟻が確認されている。野外採集の蛹からヒメバチ類が脱出することがある。

\*成虫がハラビロマキバサシガメに捕食された観察例がある。

## 幼虫の食性（食樹）

ハンノキ、ヤマハンノキ、ミヤマハンノキ、ミズナラ。ほかのミドリシジミの仲間ではミズナラ、カシワなどのブナ科が多く、メスアカミドリシジミはエゾノウワミズザクラなどのサクラの仲間を食樹とする。



ハンノキ。ミドリシジミ幼虫の食樹

## 興味深い話

■ミドリシジミをはじめとする翅が金緑色や青緑色に光る種類、オレンジ色の翅を持つ種類など日本のシジミチョウの中の特定グループ24種には「ゼフィルス」というギリシアの西風の神に由来する名前の総称がある。

■このゼフィルスは北海道では初夏に現れるが、樹の上の高い所を飛翔し、また活動時間が多くの種は朝や夕方に活動するものが多いため、意外とその存在は知られていない。

■オスは縄張り行動をとり、占有領域内に侵入したものを激しく追飛するが、その姿は大変美しい。

■メスには前翅表面が無紋のO型、橙色斑をもつA型、

青色斑をもつB型、橙色と青色の両方の斑をもつAB型の4つの型があり、十勝地方では4つの型すべてが確認されている。ただしその割合はB型が圧倒的に多く、AB型がまれに採集されるが、A型とO型は非常にまれである。

■北海道産のミドリシジミは、ほかの日本産のものに比べてかなり小型でオスメスとも裏面の色が灰色味の強い色をしているという。

■十勝地方のアイヌ語では、シジミチョウ類を「スプンマレウレウ」、チョウ類一般を「マレウレウ」という。

## 配慮事項

食樹であるハンノキ林が必要。

### 参考文献

「原色蝶類検索図鑑」猪又敏男 北隆館 1990  
「日本のチョウ」海野和男、青山潤三 小学館 1981  
「原色昆虫大図鑑 I (蝶蛾編)」北隆館 1978  
「十勝の蝶」大和与三追悼集 十勝蝶の会 1993  
「川の生物図典」(財)リバーフロント整備センター編 山海堂 1996  
「埼玉蝶の世界」埼玉昆虫談話会編 埼玉新聞社 1984  
「北海道の蝶」永盛拓行・永森俊行・坪内純・辻規男 北海道新

聞社 1986  
「原色日本蝶類生態図鑑(Ⅲ)」福田晴夫・浜栄一 他 保育社 1984  
「北見の蝶」木村辰正 北見市教育委員会 1994  
「名前といわれ昆虫図鑑」栗林慧・大谷剛 偕成社 1987  
「知里真志保著作集 別巻 I 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」知里真志保、平凡社 1976

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類